

1 本校の取組の主な概要

本校では、基礎学力の定着を図り、学校設定科目「ブラッシュアップ」による学び直しに取り組んでいる。それにより、授業の理解度が格段にアップしている。そのことは生徒による授業アンケートからも読み取れる。また、昨年度から「個別最適な学び」検証事業校として、基礎学力定着に「タブレット活用授業」を取り入れている。

進路指導面において、市原緑高校特製「システム手帳」を導入し、3年間の高校生活をすべて記録するよう指導している。ポートフォリオ等への対策として効果を示すものと思われる。

地域との連携も積極的に行っており、自転車通学者が全体の8割を超えるため、市原警察署及び市原市交通安全協会の協力を得ながら、毎月15日を「交通安全下校指導」の日と位置づけ、生徒会役員と風紀委員が、下校時に正門にて交通ルールの順守と交通安全の呼びかけを行っている。

2 成果

- ・ 朝の10分間、主要5教科の学び直しを行っており、基礎学力が定着してきた。
- ・ 部活動加入率も高まり、県大会等で活躍する生徒が増えた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、毎朝健康観察入力・手洗い・手指消毒の徹底をすることができた。
- ・ 1学年次から、丁寧な進路指導を行い、進路別ガイダンスや、保育インターンを行い、早いうちからの進路学習を行うことができた。

3 準備段階の工夫

- ・ 教員側が活動の意義や生徒指導のあり方等の共通理解をする。
- ・ 関係機関との打合せや連絡を綿密に行う。
- ・ 生徒への事前・事後指導を効果的に行う。

4 実施段階の工夫

- ・ 経過報告をし、改善すべき点を協議する。
- ・ 生徒へ学校内での行事、部活動での活躍を発信し、学校生活の関心を向けさせる。

5 広報活動とその成果

- ・ 生徒が進路活動への意欲をもてるようになる。
- ・ 学校のHPを主体に、生徒の活動の鮮度が落ちないように、その都度更新している。

6 取り組みへの反響

- ・ 市原緑高校は変わってきた、というお話を地域の方からお褒めの言葉をもらうことも増えた。
- ・ 学校隣の介護福祉施設へ手作りマスクの寄付や近隣の幼稚園に保育実習に行ったりと、地域との交流を増やしている。

7 今後の発展

- ・ 丁寧な学習指導、進路指導、生活指導を通して生徒の力を伸ばすことを続けるとともに、学校全体で地域に貢献できる人材を育成していく。

市原緑高校の様々な取り組み

基礎学力の定着・個別最適な学び

学校設定科目「ブラッシュアップ」

毎朝10分間、主要5教科の学び直しを行っています。5教科は、県内でも唯一の取組です！中学校時代につまずいてしまったところを再確認して、高校での授業や進学・就職に備えます。またブラッシュアップを行うことにより、授業の理解度が格段にアップしています。



ICTを活用した「個別・最適な学び」

本校は、令和2年度・3年度「個別・最適な学び」検証事業の対象校です。国語・数学・英語の授業でタブレットを使用した授業を展開しています。生徒はみなタッチペンを使い、次から次へと課題を解いています。1人1人のレベルにあった課題を、自分のペースで解いていきます。



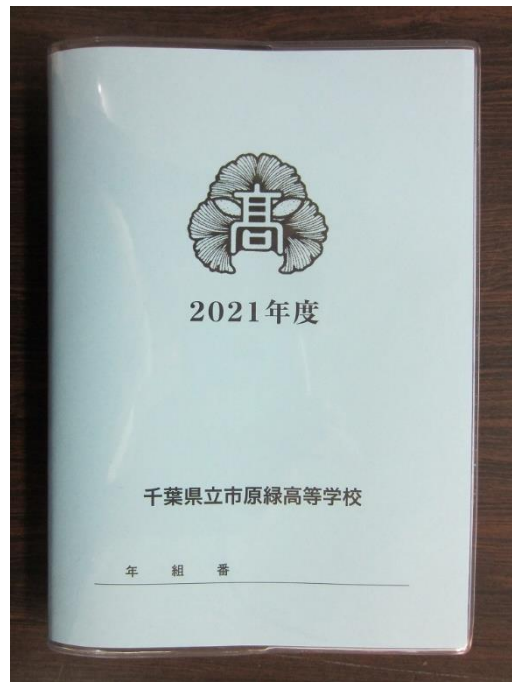
進路実現への積極的支援

市原緑高校特製「システム手帳」の導入

本校では、昨年度から生徒手帳を廃止しました。

代わりに、「市原緑高校特製システム手帳」を導入しました。これは、進学時に必要なポートフォリオ等を意識したものです。市原緑高校の年間行事予定から始まり、あらゆるものが入っています。

- 生徒会会則
- スケジュール帳
- 市原緑高校年間行事予定
- 成績評価の方法，進級・卒業の要件
- 定期考査の学習計画
- 定期考査の振り返り
- 学校行事の振り返り
- 特別活動の振り返り
- 各種講演会の記録
- 各種集会等の記録



きめ細かな進路指導

- 1年次からの進路説明会
- 分野別・職業別ガイダンス
- 多種多様なインターンシップ
- 外部講師による面接指導



公務員・看護医療系講座

本校では、希望者を対象に月に1度、外部講師を招いて、公務員・看護医療系に特化した専門の講座を開講しています。受講生の講座に取り組む姿勢は真剣そのもので、講師の先生方からも良い評価をいただいています。



🍃家庭・地域・関係機関との積極的な連携

地域の幼稚園でのインターンシップ

幼児教育に興味のある1・2年生を対象に、保育のインターンシップを年に数回実施しています。参加した生徒は積極的に幼児とふれあい、終了後は「もっと幼児とふれあいたい」「夢を必ず叶えたい」など前向きな感想が多くありました。

また、3年次には、「子どもの発達と保育」を選択すると、保育についての学びをより深めることができます。



ボランティア活動

生活部が、お手製の布マスクなど布小物を作成して、本校の隣の福祉施設へ毎年敬老の日にプレゼントを行っています。高齢者の方からは、「もったいなくて使えない」というありがたいお言葉をいただきました。

写真に写っているのは、105歳のおばあちゃんです。



交通安全下校指導

毎月15日は「交通安全下校指導」です。8割を超える生徒が自転車通学をしている本校では、毎月15日に、生徒会役員と風紀委員が、市原警察署及び市原市交通安全協会と連携して、生徒の下校時に正門にて、交通ルールの遵守と自転車運転時の交通安全を呼びかけています。



安全・安心で活力のある学校づくり

新型コロナウイルス感染症感染防止対策



Microsoft Forms を活用した健康観察入力



生徒のスマートフォンを活用して、毎朝（平日は8時、休日は9時まで）健康観察を行っています。質問内容としては、以下の通りです。

- ①前日について（帰宅後の体温・計測時刻・行動の記録）
- ②本日について（朝の体温・簡単な問診：息苦しさ・倦怠感・その他の症状・家族の発熱状況など）

入力をしてこないと、教室に入ることができないので、市原緑高生の毎日のルーティーンになっています！

手洗い・手指消毒の徹底

学校に登校するときはもちろんのこと、教室に入室する際も、手洗いと手指消毒の徹底を行っています。そのため、校内にあるハンドソープは、全て泡タイプです。各教室の入り口には、消毒液が設置されています。



昼食時の黙食とコロナウイルス関連の放送

昼食は友人同士で楽しく話しながら食べたいものですが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、自席での黙食を徹底しています。

新型コロナウイルス感染症感染防止について再度確認するため、保健委員と風紀委員が毎日交互に啓発放送をしています。内容は毎日異なり、千葉県や市原市内の感染情報から校内での情報までさまざまです。



